

新生成田市スタートの年 予算総額は763億円

空港(そら)
交流(ふれあい)
希望(ゆめ)
創造都市成田



平成18年度予算案が3月定例市議会で可決されました。予算編成に当たっては、下総町・大栄町との合併に伴い、骨格予算を編成しました。

本号では平成18年度当初予算の概要についてお知らせします。

新総合計画・

新市建設計画の実現に向けて

わが国の経済は、企業収益が改善を続けており、いまだ雇用情勢は厳しさが残るものの企業部門の好調さが家計部門へ波及しつつあります。これを反映し個人消費についても緩やかな増加傾向にあり、民間需要に支えられた景気の回復が見込まれます。

本市においては、空港関連企業を中心に税収の伸びが期待できる状況ではありませんが、国における三位一体の改革や厳しい県の財政状況を反映して、国・県補助金の廃止・縮減により、財政運営も依然として厳しい状況にあります。

このような状況下にあっても、平成18年度を初年度とする、新総合計画ならびに新市建設計画の実現に向けて、世界との交

流拠点として市民が誇れる都市をつくる

市民がいきいき働く活力ある産業を育てる、市民一人ひとりの健康で生きがいを持つた生活をささえる、市民が地域文化を愛し、次代を担う心豊かな人材を育て、市民が安全、安心、快適に暮らせる生活環境をつくる、市民と行政が協働する効果的な自治体運営を行う、の六つの基本方向に基づき、主要事業を中心に各種事業の緊急性、優先度を考慮し、一層の経費節減を図るとともに、財政の健全性の確保と効果的な財政運営に留意しながら、平成18年度予算を編成しました。

一般会計は14・3%の増

新成田市の予算総額は、763億7、251万円。その内訳は、一般会計で495

億円、特別会計が7会計で235億8、900万円、水道事業会計が32億8、261万円です。前年度と比較すると、一般会計で62億円(14・3%)増額となりました。

歳入の56%が市税

歳入では、税制改革による個人市民税企業収益の増収による法人市民税の伸びにより、市税全体では275億6、293万円(全体の55・7%)、前年度と比較すると31億4千万円の増収となりました。

次に多い国庫支出金は、42億457万円、昨年より4億6、976万円の増です。また、地方交付税ではこれまで成田市では計上されなかった普通交付税の15億円を計上し、特別交付税と併せ19億円を見込んでいます。

市民サービスをさらに充実

歳出では、昨年2番目だった民生費が2億5、313万円増の100億9、469万円(20・6%)でトップになりました。主なものは乳幼児医療対策事業・児童手当支給事業・介護予防支援事業などです。

2番目は総務費の97億2、314万円(19・6%)。昨年比31億7、100万円の増です。平成22年度開業を目指す成田新高速鉄道アクセス事業や成田ナンバー誕生記念事業などです。

会計別予算の内訳

一般会計

495億円

一般会計とは、市の基本的な行政を行うための会計です。主な事業は6・7ページをご覧ください。

特別会計

235億8,990万円

特別会計とは、特定事業を行う場合に一般会計と区分して経理する必要のあるときに設ける会計をいいます。本市では次の7会計が設けられています。

- 国民健康保険90億9,167万円
(事業勘定)89億6,290万円
被保険者の疾病、負傷、出産、死亡などに際し、必要な保険給付を行います。
(施設勘定)1億2,877万円
国保大栄診療所において、被保険者などに対し診療を行います。
- 下水道事業23億1,623万円
都市排水施設の整備を行い、市民生活の環境整備を図ることを目的としています。
- 公設地方卸売市場2億4,535万円
青果物、水産物、生鮮食料品などを安定した価格で供給し、市民生活の向上を図ります。
- 老人保健61億3,009万円
老人医療受給者に、医療費を給付することを目的としています。
- 介護保険37億2,232万円
被保険者の要介護度などに応じて、必要な保険給付を行います。
- 農業集落排水事業6億6,861万円
下総、大栄地区の農業集落に排水施設を整備し、生活環境の改善を図ります。
- 簡易水道事業14億1,563万円
下総、大栄地区に給水する小規模な水道事業です。

企業(水道事業)会計

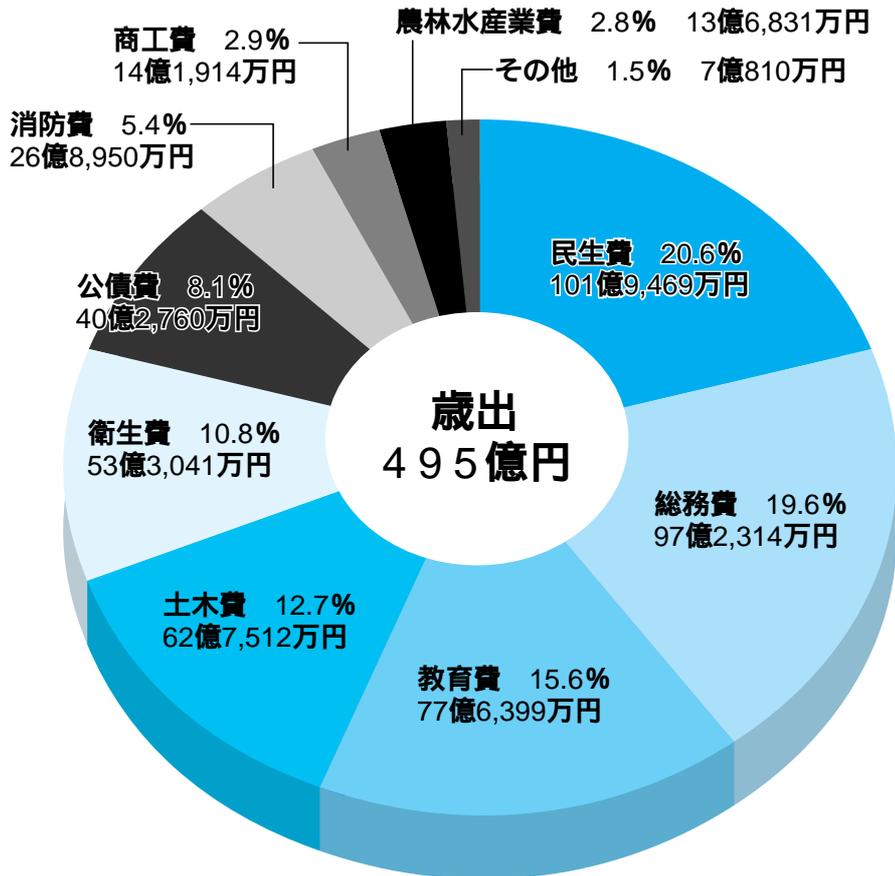
32億8,261万円

企業会計として「水道事業会計」があります。

- ・水道事業収益(収益的収入)18億4,247万円
- ・水道事業費用(収益的支出)16億5,497万円
- ・資本的収入3億5,872万円
- ・資本的支出16億2,764万円

平成18年度予算についてくわしくは財政課(☎20・15112)へ。

一般会計当初

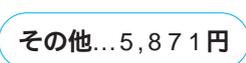


市民一人に約41万円使われます

市民の皆さんに今年度いくら使われる予定かを、下欄のイラストで示してみました。市民一人当たり41万404円になります。内訳で一番多いのは、民生費で8万4,524円。次いで総務費8万614円、そして教育費の順になっています。

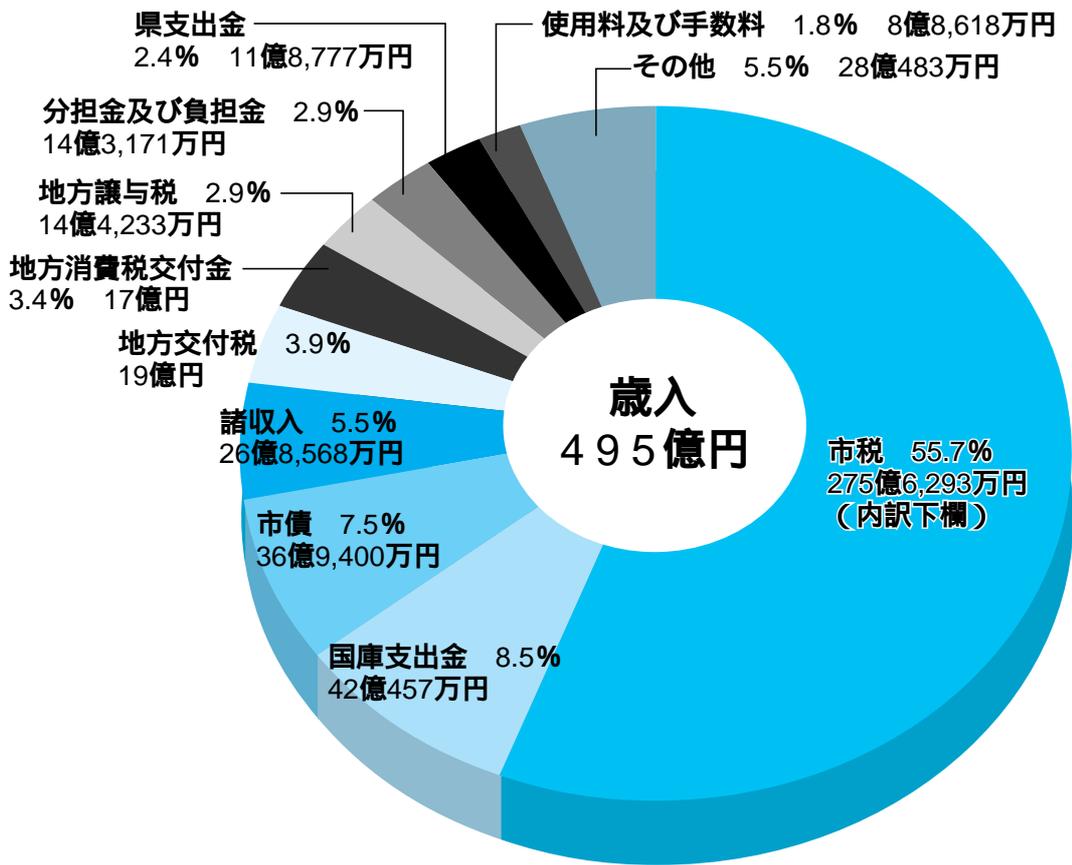
市民一人当たりの負担額(税金)が22万8,524円で、使われるお金が41万404円ですから差し引き18万1,880円の不足となります。不足分については、国や県からの支出金や市債などで賄われます。

市民一人当たりの歳出内訳



市民一人当たりに使われるお金...410,404円
 一般会計当初予算額(495億円)÷平成18年3月1日現在人口(120,613人)

予算の内訳



市民一人が納める市税は約23万円です

市民の皆さんが今年度に納める予定の市税の内訳は下欄のイラストが示すとおりです。これを一人当たりに換算すると22万8,524円になります。内訳のトップは固定資

産税で159億2,374万円。次いで市民税101億3,287万円、市たばこ税11億4,684万円となっています。



都市計画税
1億8,657万円



法人市民税
40億3,103万円



固定資産税
159億2,374万円



その他市税(軽自動車税など)
1億7,291万円



市たばこ税
11億4,684万円



個人市民税
61億184万円

歳入に占める市税の内訳

市民一人当たりが負担する税額

.....228,524円

市税予算額(275億6,293万円)

÷平成18年3月1日現在人口
(120,613人)